

2022年度 日本工学院専門学校											
建築設計科											
建築CAD1											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	綱川 大介			実務経験	有	職種	建築設計／建築設計事務所主宰				
担当教員紹介											
〈意匠系設計事務所で3年間勤務後、独立し設計事務所を設立。住宅・集合住宅・オフィス・店舗・宿泊施設・福祉施設の設計・監理を経験している。2014年からはNPO法人すまいづくりまちづくり協議会理事に就任。											
授業概要											
この授業では短期間で完成できる課題を3～4回に分けて行い、達成感を与え自信をつけてもらう。まず基本である平面図の作図を行い、各部屋の空間のスケール感を養う。建物の図面を描く課題を経て、最終的にはその図面を用いプレゼンテーション図面を作成する。 プロジェクト投影で実際に同じ課題をこなし、出来るだけライブ感を出した授業を行う。最終的には学生自身のみで描く。また建築の面白さや魅力、素晴らしさを写真や動画、そして我々の経験を活かした授業を行う。											
到達目標											
数回に分けられた様々な課題から最終的には自分自身の作品を紙面にまとめ、また一人一人がプレゼンテーションを行うことで、技術的なハードスキル(CAD操作)や話術的なソフトスキル(発表能力)を少しでも身につけ、社会に出てからの実践力の習得を目標とする。											
授業方法											
目標達成のため下記授業内容詳細により授業を展開する。											
成績評価方法											
出席 課題 平常点	50% 40% 10%	積極的な授業参加によって評価する 課題提出状況、理解度、出来具合によって評価する 授業態度によって評価する									
履修上の注意											
休まず出席することが大切である。課題説明時、課題内容だけでなくプリント配布、注意点をしっかりと把握すること。課題は途切れず進んでいくため、欠席すると分からなくなったり、ついていけなくなる。また作図時は、描く線の意味を考えながら進めていくことが大切である。											
教科書教材											
毎回レジュメ・資料を配布											
回数	授業計画										
第1回	CADについて、講師紹介, 注意事項 CADが実践でどのように利用されているかを理解する										
第2回	Vector Worksの基本操作 「座標」、座標を利用した「作図」、「移動」、「複製」等を使った図形を描く練習をする										
第3回	「日本の文様」 (1) 日本の代表的な様々な文様を操作可能なコマンドを覚え早く正確に描けるようにする										
第4回	「日本の文様」 (2) 文様の作業、作図、着色										
第5回	「日本の文様」 (3) 文様の作業、作図、着色、印刷、提出。講師によるチェック										

2022年度 日本工学院専門学校	
建築設計科	
建築CAD1	
第6回	「椅子の作図」 (1) レッドアンドブルーチェアの解説、1/10スケールで作図
第7回	「椅子の作図」 (2) レッドアンドブルーチェアの作図
第8回	「椅子の作図」 (3) レッドアンドブルーチェアの作図
第9回	「椅子の作図」 (4) レッドアンドブルーチェアの作図、提出／講師によるチェック
第10回	「タングラム・チェア」 (1) 「ベルリンチェア」をコンポジション(再構築)しオリジナルの椅子をデザインする
第11回	「タングラム・チェア」 (2) タングラム・チェアの作図
第12回	「タングラム・チェア」 (3) タングラム・チェアの作図
第13回	「タングラム・チェア」 (4) タングラム・チェアの作図、提出／講師によるチェック
第14回	建ぺい率の考え方、計算方法 建ぺい率をExcelを使用し計算／建ぺい率の考え方を理解する
第15回	簡単な平面図の作図 910グリットに沿って「nLDK」の一般的な平面図を作図する